

まわりと比べない 我が子の評価を正確にできるのは親だけ

「トビ主さんの息子さんは、稽古に行きたくな」と言っていますか。そうでないのなら、多少やる気がなくても続けたほうがいいかと思えます。6年生なら、これから体力がついてきますから、それで強くなつていくこともあるかと思えます。子供はどこかで意識が変わることもあります。その瞬間の年齢はわからないので、

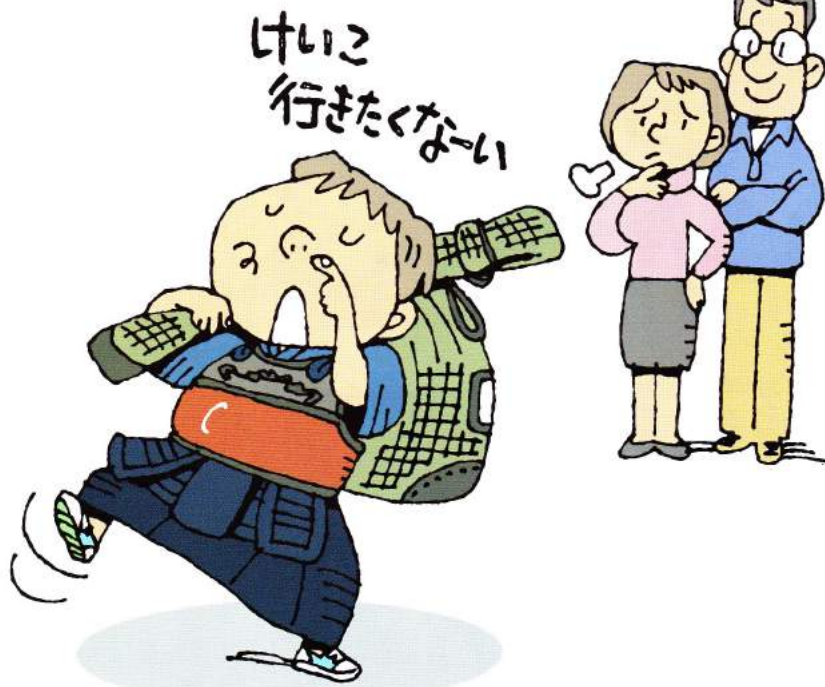
親がはっぱをかけても、本人がやる気にならないとどうしようもありません。トビ主様の主人の言う通りだと思います。でも嫌がっていないで稽古に行っているのなら、あえてどうしたいか聞かないで続けさせるほうがいいのではないのでしょうか。たとえ乗り気であっても、地道に稽古を続けることで身に付くこともあります。中途半端な

時期で辞めるのはあまり良くないと思えます」

私はこんな風に返しています。

「親としてもどがしい思いを感じておられることはよくわかります。でも、剣道嫌いでないということであれば、それでよいのではありませんか。周りの子のほうが強くなつていくのを見ることは、親として切ないことだと思います。でもそれ以上に、お子さんは敏感にそれを感じているはずですから、子どもは互いの序列に敏感なものです。子どもも互いの序列に敏感なもので、お父さんも剣道に対する気持ちが冷めてしまつて危険性があります。勝つても負けても『わが子の取り組み』を正確に評価できるのは親だけです。そして子どもは、先生よりも誰よりも、親にこそ頑張りを認めてもらいたいものです。ご主人がおっしゃるように、剣道をやっているのは息子さんです。親はただただ、子どもがお稽古に通える状況をサポートする。それしかないと思えます。『行きたくない』とおっしゃっても、続けさせてあげてほしい。剣道は竹の棒で人の頭を叩く技術を学ぶ競技ではありません。自分の弱さを知り、つらさや苦しさを乗り越えることによって心と身体をきたえる競技です。続けさせてほしいだけならば、必ずいいものを学ぶことが出来ます」

この後のトビ主さんの書き込みにより、まず、お子さんはお稽古のない日には素振して、お稽古の練習をしてみてください。そして、剣道は好きなんです。親が根負けせず、頑張り続けてあげてほしいものだと切に願つ次第です。



イラストー小島サエキチ

Hide.の剣道おすすめサイト 155 調布市剣道連盟



<http://www.chofukenren.net/>

今回ご紹介するのは東京都にあります調布市剣道連盟のサイトです。TOPページにすべてのコンテンツが行儀よく収まり、必要なものにアクセスしやすい作りになっています。メインとなるコンテンツは画面の左側にまとめられています。「巻頭言」「剣連概要」「生涯剣道」「切磋琢磨」「少年育成」「親睦向上」と連盟の柱が示され、「剣連概要」では「組織」「活動方針」「道場案内」「会議予定」「会議報告」などがきちんとまとめられています。「生涯剣道」はリレー閑話になっておりまして、各団体が指導に当たられる先

生方が、修業時代のエピソードや恩師の指導内容、今でも記憶に残るお言葉や忘れ難い試合、影響を受けた先生方の思い出等を書いておられます。「少年育成」の「剣道FAQ」や「剣道納得動画集」は子どもたちに剣道を教える上で有益なコンテンツです。また「親睦向上」のページを見ますと、いろいろな行事を行っているのに驚きます。「立切請願試合」や「市民駅伝大会」「剣道盛年大会」なんていうのもありました。非常に盛りだくさんなページで見ていて楽しいですよ(^^)